

戦争起こさせない行動を



ノーベル物理学賞受賞者・京都大学名誉教授

益川 敏英さん

安倍首相のいう改憲の本質は、日本を戦争ができる国にしたいということですよ。9条1項2項はいじらないというのは、多少は世論を恐れたということかな。必ずやってくるだろうと思っていたことだけど、こういう手を使う

異議あり!
安倍
改憲
発言

とは。9条と真っ向から反する3項を追加するなんてね。

安倍首相はいまがその時だと思っただらうけど、そうしないと自分たちが危ないぞという認識もあるのでは

よ。安保法制(戦争法)によって自衛隊を海外に出せるようにしたけれども、9条があるから戦争はできない。アメリカと一緒に先手を打ちたくてもできない、戦争を始められない。

ほくは、終戦の時5歳でした。名古屋市のわが家にも焼夷弾が落ち、屋根瓦を突き破った爆弾が、ほくの目の前にころころと転がってきた。幸い不発弾で、ほくも家族も無事でしたが、それがどんなに恐ろしいことだったのか、

中学生ぐらいになってからわかるようになりました。ほくの戦争体験は、親たちや戦争に行った人たちの経験に比べればたいしたことではないのだけど、戦争を自分の記憶として語り伝える最後の世代として語らなければと思っております。

ノーベル賞受賞の記念講演でこの体験に触れようとしたら、そんなことを話すべきではないという批判の声を聞かされてきました。かまわずに元の原稿のまま話しましたがね。

戦争は残酷です。殺されるのも嫌だけれど、殺す側はもっと嫌だ。ふだんは虫も殺せ

ないような男が、相手の表情がわかるところで引き金を引く。そういう極限に追い詰められる。戦争という非人道的な行いが一人ひとりの人間の人間性を失わせる。

科学の発展は、戦争の技術に利用されてきました。人類の発展のための研究が人を殺す道具に使われる。科学者は自分の研究がどのようなことに利用される可能性があるのか、一番早く気が付きうるのだから、それを世間一般に知らせ、戦争を起こさせないようにつとめるために行動しないといけない。政治や経済の動きに敏感であるべきですよ。

聞き手 荻野悦子